

## ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

日本電産株式会社 取締役副社長執行役員（最高財務責任者） 佐藤 明

このたびは「平成29年度（第23回）ディスクロージャー優良企業選定」の電気・精密機器部門においてディスクロージャー優良企業に選定いただき誠にありがとうございます。おかげさまで当社といたしましては3年ぶり6回目の受賞となりました。特に経営陣のIR姿勢やIR部門の機能の点で高く評価いただき、大変光栄に存じます。これもひとえに日頃の投資家、証券アナリストの皆様によるご支援の賜物と、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

当社は1973年に創業した、「回るもの、動くもの」に特化した総合モーターメーカーです。当初はパソコン等に使用される精密小型モーター分野を中心に成長を続けて参りましたが、2012年度以降はパソコン市場の低迷を受けて車載用や家電・商業・産業用、またロボット分野といった新市場へ果敢に参入することで事業ポートフォリオの転換を行っています。これは世界的な環境規制の強化を追い風に、自動車のEVシフトをはじめとした技術革新の大波が生じており、当社経営を取り巻く環境が劇的に変化していることを踏まえたものです。一方、当社内においても2014年度の売上高1兆円突破を境に、真のグローバル企業への脱皮と100年後も成長を続ける企業を目指した「働き方改革」に代表される諸施策を強力に推進しています。当社はここ数年間で全く違った中身の会社へと変貌しつつあり、ステークホルダーの皆様に変化を遂げる当社の実態を正しくご理解いただ

くため、IRの現場における対話を益々積極的に志向する決意です。

日々のIR活動におきましては「グローバルIR機能の一層強化」を目標に掲げ取り組んでいます。海外の機関投資家に対しては、トップマネジメント層による北米・欧州・アジア地域での継続的な海外IR実施の他、早くからニューヨークとロンドンにIR専任オフィスを設置することでステークホルダーとの密な対話を継続しています。近年は、新興国地域における新規株主獲得を目指した海外IR活動の強化や、ESG投資を行うパッシブ・アクティブ両投資家の更なる獲得を目指した非財務情報の開示充実化など、新たな試みも行っています。また、個人株主の拡大策も鋭意推進中です。IR担当者による個人投資家向け説明会や証券会社のリテール営業担当者向け説明会の実施機会を増やすことで新規株主の掘り起こしを図っています。加えてトップマネジメント層による定期的な個人投資家向け説明会の機会創出やWEBサイトを活用した個人株主数の増加施策を図るなど、個人投資家への直接訴求を主眼に置いたIR活動の充実化を図っています。

今後も、現状に満足することなくステークホルダーの皆様とのより良い対話の実現に向けて、経営トップをはじめIR担当者が一丸となって改善に取り組んで参る所存ですので、引き続きご指導ご支援いただきますようお願い申し上げます。